

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

団体名	NPO 里山環境さなざわ (さなざわ里山だんだんの会)
活動タイトル	地元民と都市住民による利根川源流地域の里山再生・保全と環境学習
活動地域	群馬県利根郡みなかみ町月夜野



2022. 5. 3 ヒノキ林の間伐

【活動の目的・目標】

衰退する里山＝棚田・山の崩壊⇒水源の荒廃⇒
災害の発生⇒困る都市住民

この連鎖を断ち切るためには、上下流交流により都市住民に里山の現実を理解してもらい里山再生・保持のよき理解者となってほしい。

これらの事を学習する「場」としての里山も大事な資源です。



2022. 8. 27 ヒノキ林の間伐と皮むき

【今回の活動で苦労した/工夫したこと】

コロナにおいて、約3年間外部との接触を遠避けたために、学校など外部との人脈が途絶えてしまい、元に戻ることが難しくなっている。



2022. 10. 0 間伐材の加工

【活動の内容・成果】

開催回数：約15回

参加人数：約120人

達成率：90

4月から9月までの大きな活動は、3月から4月の環境省の「モニ1000里地力エル類調査」で毎週ヤマアカガエの産卵数調査。

6月は利根川の上下流交流での棚田の田植え。

7月は棚田とビオトープの管理とホタル観賞会です。

この間、棚田の管理として苗床作り・害獣対策（電柵・罠の設置）や土手の除草・ヒエ抜きなどを日々おこなっています。

【団体概要】活動地である群馬県利根郡みなかみ町月夜野 真澤地区の全19戸住民と群馬県・水上町職員及び退職者、利根川を管理する国土交通省現役及び退職者をメンバーとする組織です。

十数年前の発足は、地元民の一部の人が荒廃する棚田を見かねて保全活動を始めたことから、国土交通省退職者と会（さなざわ里山だんだんの会）をたちあげたことに始まりました。

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

こちらに、1ページ目の以外の活動写真を添付し、右側に説明をご記入下さい。



2023.5.27 2年をかけて小屋の概成

里山の管理として、ヒノキ林を間伐して、環境学習小屋を自分達で増築した。

これで田植えや、稲刈りなどの上下流交流においても雨が降っても楽に対応できるようになった。

昨年から少しずつ作業を行い、平成5年度に完成した。



2023.3.27 棚田の春・カエルの産卵期



ヤマアカガエルの産卵数調査を3日から4月まで1週間に1回行なった。

2023.3.27 赤ガエルの卵塊



2023.6.11 田植え

6月11日上下流交流の、田植えを行った。あいにくの空模様であったが、増築した学習小屋のおかげで、日本自然保護協会の協力による環境学習会も、田植えの前に行うことが

2023.6.11 新しい学習小屋で田植え前の環境学習会



2023.6.1 田植え子土間たちのピザ作り

田植えのお昼は、子供たちがお好みのピザを手造り石窯で焼いて楽しんだ。

また、地元で捕獲したイノシシ・シカのジビエ料理を堪能した。



2023.6.11 田植え後の昼食